

2017年度第6回役員会議事概要

日時 2018年1月17日(水) 19:00~21:55

場所 まるいクリニックデイケア

出席) 泉 大石 金井 斉藤 下村 竹林 知名 西村 平山 服田 松本 宮崎 欠席) 東森
司会) 大石 書記) 斉藤

1) 事業

報告

○なし

予定

○1月例会(日本精神保健福祉士協会京都府支部協力研修)

日時 2018年1月28日(日) 14:00~17:00 会場 キャンパスプラザ京都 2階第1会議室

テーマ 「地域包括ケアから社会変革への道程~精神保健福祉士のソーシャルアクションとは~」

講師 中島 康晴 氏(NPO法人地域の絆 代表理事、日本社会福祉士会 副会長)

○2月例会

日時 2月10日(土) 14:00~16:00 会場 京都府立 洛南病院

テーマ 洛南病院見学会

○フォローアップ研修

日時 2018年3月3日(土) 13:30~16:30

会場 京都市子育て支援総合センター こどもみらい館 第一研修室 B(4階)

講師 村本 詔司 先生(神戸市外国語大学 名誉教授)

○倫理委員会

3月開催予定

2) 対外関係

報告

○京都府医療観察制度運営連絡協議会 出席 西村

日時 12月7日

内容)

1. 医療観察法の施行状況等について
2. 付き添い人活動について~京都弁護士会より報告

○第5回 共に安心して暮らせる京都デザインフォーラム 出席 斉藤

テーマ「生きづらさから生きやすさへ~ゆるやかなつながりで誰もがいきやすい暮らしをつくる~」

日時 12月9日(土) 13:00~16:30 会場 しんらん交流館 2階 大谷ホール

主催 障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 京都府社会福祉協議会

内容)

第1部 シンポジウム「くらしを支える活動を通して、誰も取り残さない地域づくりを考える」

◎認知症の人の生きやすいまちづくりのとりくみ(宇治市) 宇治市福祉サービス公社事務局次長 川北雄一郎氏

◎自閉症の方と共にとりくむ西陣麦酒のとりくみ(京都市) NPO法人 HEROES 松尾浩久氏

◎当事者運動と地域での支え合い 障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 矢吹文敏氏

◎貧困問題、コミュニティ再生の課題について 京都弁護士会所属生活保護費引下取消訴訟弁護団 森田基彦氏

第2部 「みんなで語ろう — 誰もが生きやすいまちのために —」

○新・生存権裁判を支援する会 担当 泉

生活保護基準引き下げ違憲裁判の支援ならびに更なる生活保護基準引き下げの動きに対するソーシャルアクションについて（以下は支援する会事務局からのメール転載）

- 1) 1月17日（水）18:00～ 街頭宣伝@阪急西院駅前 「生活保護の引き下げ」報道後の宣伝となります。
- 2) 1月21日（日）14:00-16:00 「生活保護改悪に反対する人々の会」による署名活動、ビラ配り、募金@東寺東門交番の横周辺
- 3) 1月23日（火）13:30～ 第12回期日@京都地方裁判所
第12回目の期日となります。→傍聴を会員へメールで呼びかける
- 4) 1月25日（木）18:30～
「願いはふつうに暮らすこと～なのに、また生活保護基準引き下げ?!」@エルおおさか
主催 大阪の「引き下げアカン!大阪の会（生活保護基準引き下げ違憲訴訟を支える大阪の会）」・反貧困ネットワーク大阪
- 5) 4月20日（金）13:30～ 第13回期日@京都地方裁判所

ONPO 法人日本障害者協議会「食事提供体制加算に対する緊急要望書のお願い」団体署名にて協力（12月8日締切）

○第13回精神障害者バレーボール京都市大会 臨席依頼 欠席
日時 12月1日 10:00～15:50 場所 京都府立体育館

○医療観察制度運用に関する今後のあり方意見聴取会議 欠席
日時 12月21日 13:00～15:00 場所 平安ホテル 主催 京都府（担当 健康福祉部医療課）

○平成30年京都市社会福祉大会 欠席
日時 2018年1月9日 14:30～17:10 場所 京都ホテルオークラ 3階 翠雲の間

予定

○新・生存権裁判を支援する会
第12回期日

日時 2018年1月23日（火）13:30～ 場所 京都地方裁判所（13:00に京都地裁ロビーに集合）

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 第51回定例会

日時 2018年2月6日（火） 13:30～16:00 場所 京都市多文化交流ネットワークセンター 大ホール

3) 各部より

各部より報告等

□研修部

日時 12月5日 場所 アステックむろまち 参加者 6名

内容) 2月例会について検討を行った。

日時 2月10日（土）14:00～16:00 テーマ 「洛南病院見学会」

前回の役員会で話あった京都協会会員のメリット感を出すこと、また秘密保持の観点から、京都協会会員限定の例会とする。定員は20名（現在のところ6名）1月31日締め切り

□通信情報部

きょうと通信委員会

きょうと通信 126号原稿締切は1月21日。

HP委員会

特になし

□権利擁護委員会

開催なし 次回委員会 1月18日（木）19:00～ つばき医院

□障害者福祉制度委員会

開催なし

□倫理について考える委員会

1) 日時 12月19日(火) 19:00~21:00 会場 ベーコンラボ4階 参加者 4名

内容)

1. フォローアップ研修について

現在、申込者が10名程度。締め切り期日を終えているが、もう少し様子を見ていく。提出されたエピソードの内容をもとに、フォローアップ研修の内容を組み立てていく。

2. エピソード提供

2) 日時 2018年1月16日(火) 19:00~ 会場 安東医院

内容) フォローアップ研修に向けて参加者のエピソード内提出内容の確認と研修内容の検討

参加者11名 事例は8事例が提出された。

※次回 1月30日・2月に集まり内容を詰めていく。

□ソーシャルワーカー育成検討委員会

1. 8月26日の「第1回 ソーシャルワーカーの集い ~ 新人から3年目までの精神保健福祉士の相互研修」以降、委員会及び研修会ともに開催できていない。1月中に委員会を再開し、2月・3月の研修の調整を予定している。

2. 精神科医療機関と障害福祉サービス事業の2カ所の実習をつなぐ「つながりシート」第1版について、会員(主に実習指導者)向けにメール配信することを考慮中。

□心神喪失者等医療観察法学習会

日時 11月22日 会場 なごやか

内容) 制度に適応できず権利侵害をされている状況もある。何故この人がと言うこともあり制度運用の難しい面ある。

次回 2018年1月24日 会場 なごやか

□京都府支部担当

1月の協力研修がある。再度広報が必要。2月にブロック会議開催。その直前で支部会議を行う(2月14日)

□災害支援検討委員会

活動なし。 次回 2018年2月9日

□個人情報保護法対策委員会

日時 11月29日 19:00~ 場所 ジョイントほっと

□事務局

入会審査

メール審査にて1名承認(12月26日承認)

退会審査

メール審査にて2名承認(12月7日承認)

本日分退会審査1名→承認

会員数 12月26日現在 349名→1月17日現在 348名

□会計

中間監査

日時 12月6日(水) 19:00~21:00 場所 キャンパスプラザ京都 2階 和室 担当) 大塚、竹林、泉
監査意見) 会費過払い件の解決をするよう指摘があった。

4) その他(審議事項)

対外関係

○平成29年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体との情報・連絡会議 出席依頼 (→出席予定 宮崎)
日時 2018年3月2日(金) 13:30~15:45 場所 こどもみらい館 4階 第1研修室

事業・各部より

○例会参加費について(継続審議)

【京都府支部構成員の参加費について→無料にするかどうか】

(前回の内容)

会費の徴収については、京都府支部とは別団体であり、また会員の会費から成り立っている予算は会員のために使うという原則に従っている。支部構成員の参加費を無料にするとすればその根拠として支部活動協力費を、研修費に充てるという考え方もある。現在は、総会記念講演会、災害支援検討委員会、支部協力研修等を京都府支部との共催としており、支部活動協力費の使途となっている。支部活動協力費の使い方は、「支部活動への協力」という名目であれば協会で自由に検討して使える。

(今回の議論)

- ・支部構成員も無料として研修費に組み込むのであれば、京都協会会員へ説明をきちんと出来る形が必要。支部構成委員も研修が無料になるなら、京都協会には入会せず支部構成委員だけでよいという可能性がある。
- ・他県の協会は、県協会非会員である県内の構成員から研修参加費を徴収。それは県協会加入を促し一緒にやっという意図がある。京都でもできるだけ多くの人にどちらの団体にも所属してもらい一体化させていくような方針をかけるのであれば、参加費を意図的に考えていく必要があるが、現状それについては議論できていない。
- ・支部構成員と協会会員はあまり被っていないので、別団体ということを前提にするべきで気前よく「無料」にしなくてもよいのではないかと。ソーシャルアクションや共同開催の研修など協力してやれるのであれば、無料ということとはできるかもしれない。ただ、現状そこまでではないので、これまで通りのやり方でいいのではないかと。

→支部構成員は他団体として参加費は徴収する。広報の際には明確に提示すること。運営側で明確に説明ができるようにしておくこと。

○個人情報保護に関して

1) 規定について

様々な資料を参考に作成している。文言や法的に大丈夫かのチェックが必要。

2) チェック費用について

費用(最低10万円)を支払えば弁護士にチェックをしてもらえるが、費用負担が可能なのか。

→内容面で、日本協会の基幹研修・刑務所の見学、2府4県合同研修などの名簿の扱いはどう規定するか。弁護士への相談は今の所は保留とし、2月の役員会までに決定する。規定以外の案件はメールにて配信、議論すること。

○2018年度総会記念講演会のテーマ/講師について(日程 2018年5月27日)

意見)

1) 佐々木 理恵氏(東京都立川市でリカバリーカレッジを運営されているピアスタッフ)

リカバリーに焦点を当てた学びの場の創造と運営が当事者とスタッフとの協同により成されている取り組みをされている。また、イギリスにおけるリカバリーカレッジの実践がNHS(国民保健サービス)により、脱施設化の一環として進められている実態について報告いただき、京都におけるノーマライゼーションおよびソーシャル・インクルージョン推進の方向性を考える機会とする。

- 2) 竹端寛氏 (山梨学院大) 3) 玉木幸則氏 (西宮市) 4) 藤井克徳氏 (JD) 5) 藤田孝典氏 (埼玉 貧困)
以上の候補が挙がる
→まず会員への意見募集を行う。締切 1 月 26 日までとする。

その他

○次期事務局・役員体制について(継続審議)

→役員の発掘・事務局の場所をどうするか。事務局は賃貸も視野に検討していく。

○世界ソーシャルワークデイ 2018 (3 月 20 日)

今年は「地域社会と環境の持続可能性の促進」がテーマ。昨年は救護施設に関する学習会を開催したが、今年はどうするか。

→実施する方向で社会福祉士会と京都医療ソーシャルワーカー協会に連絡をしていく。

○年度末に向けて(確認)

各委員の事業報告および事業計画をおねがいします。(3 月役員までに)

会費の未納の方への声かけを後日依頼します。

○昨年実施した相模原事件に関する催しを次年度も 2 周年で企画をする。個人の PSW の協力をお願いしたいと連絡あり。依頼があれば役員へ連絡を。

次回役員会 2 月 21 日 3 月 14 日